（様式第２号）　　　　　　　　　診　　　断　　　書

（所得税法施行令第１０条及び地方税法施行令第７条又は第７条の１５の７に基づく障害者・特別障害者控除対象者認定用）

|  |  |
| --- | --- |
| 名前 |  |
| 生年月日 | 　　　　　　　　年　　　月　　　日 | 満　　　　歳 |
| 障害を伴う傷病名 |  |
| 障害高齢者の日常生活自立度（該当項目にチェックして下さい）　　□自立　□J１　□J２　□A１　□A２　□B１　□B2　□C1　□C2 |
| 自立 | 日常生活は自立している |
| Ｊ | 何らかの障害等を有するが，日常生活はほぼ自立しており独力で外出する１　交通機関等を利用して外出する２　隣近所へなら外出する |
| Ａ | 屋内での生活は概ね自立しているが，介助なしには外出しない１　介助により外出し，日中はほとんどベッドから離れて生活する２　外出の頻度が少なく，日中も寝たり起きたりの生活をしている |
| Ｂ | 屋内での生活は何らかの介助を要し，日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ１　車椅子に移乗し，食事，排泄はベッドから離れて行う２　介助により車椅子に移乗する |
| Ｃ | １日中ベッド上で過ごし，排泄，食事，着替において介助を要する１　自力で寝返りをうつ２　自力では寝返りもうたない |
| 認知症高齢者の日常生活自立度（該当項目にチェックして下さい）　　□自立　 □Ⅰ 　□Ⅱ 　□Ⅲ 　□Ⅳ　 □Ｍ　 |
| 自立 | 日常生活は家庭内及び社会的に自立している |
| Ⅰ | 何らかの認知症を有するが，日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している |
| Ⅱ | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる |
| Ⅲ | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ，介護を必要とする |
| Ⅳ | 日常生活に支障を来たすように症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ，常に介護を必要とする |
| Ｍ | 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ，専門医療を必要とする |

　　　　　　　　年　　　月　　　日時点において，上記のとおり診断します。

年　　　月　　　日

　　　医療機関名

　　　所在地

　　　診療担当科名　　　　　　　　　　　　　　　　　医師名　　　　　　　　　　　　　印